

令和元年度 公益活動げんき応援事業助成金採択事業一覧

【げんき応援コース】 申請件数：41 件 採択件数：35 件 交付予定合計額：3,448 千円

<子どもの居場所 11 事業> 交付予定合計額：1,100 千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	千住プレイス	『千住プレイス』…子どもの居場所づくり	不登校の子どもは増加傾向にあり、引きこもり等の長期化を防ぐための支援が課題となっている。問題を抱えている子どもを対象に、ゲームや手芸など居場所での活動（人間関係）を通し他者との関わりを肯定的に捉え、学校や地域社会に適応できる力を育てるようにする。多様な問題に直面している子どもや保護者の社会的なつながりの場としての居場所を作り、ゲートキーパー的な役割を担っていく。	128 千円	100 千円
2	足立活き活き会	地域のちからで見守りと町おこし!	乳幼児から大人まで多世代の人たちを対象に、行燈まつりでの近隣幼稚園児の絵の展覧や親子食堂、スポーツ吹き矢、餅つき等のイベントを実施する。他団体や関係機関とも連携して交流の場を提供することで地域の繋がりや絆を深め、孤立ゼロと安全・安心なまちづくりに寄与する。	130 千円	100 千円
3	足立区竹ノ塚ママとベビー・キッズのコミュニティkoen	コミュニティkoen おやこ園	乳幼児期の母親がつながりを持てる場が少なく、親子が安全に外出して遊べる場が少ない。乳幼児期の親子が安心して過ごせる場、子どもが身体を動かしてのびのびと遊べる場を定期的に開催する。孤立した子育ての解消を図るとともに地域の方との繋がりがもてる取り組みを行うことで世代間の理解を深める。	143 千円	100 千円
4	Y-ベース	みんなで作るY-ベース2	地域には住区センター以外に柔軟に子連れで集える場所が少ない。食について学べる機会や自然や工作等の体験、講演会等の学べる機会も少ない。みんなで作るイベントを開催し、世代を超えた地域の交流、仲間づくりのよりよいきっかけを作っていく。特に食について重点を置いて取り組みを行っていく。	118 千円	100 千円
5	パークエンジェルの会	子どもを見守る そだちの「い・ろ・は」	子どもたちがのびのびと過ごせる遊び場やこどもの発達・行動について学ぶ場・共有できる場が少ない。子育ての不安の軽減と子育ての脱却を図るために具体的な事例・体験的なワークショップ、見学研修会、交流会を実施する。子どもの育ちを安心して見守ることができる環境を築いていく。	160 千円	100 千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
6	梅島キッズサ ポート	梅島キッズ 夏祭り及び 交流会の開 催	地域のつながりが希薄になっているため、子育て情報を共有する機会の減少、核家族の孤立、子どもたちの居場所の減少が地域課題となっている。夏祭りの開催を通して、「地域コミュニティでの子育て」を実現し、子育て中の家庭、子どもたちの活動を応援、サポートしていく。祭りに参加した子どもたちが、地元で貢献し活躍する大人となることを目指す。	350 千円	100 千円
7		「こどもが 作る未来の まち～みら まち～」の開 催	子ども達には自ら気づき、行動し、作り上げていく力が求められている。子ども達が発案し、作り上げた仕事を運営する「みらまち」を開催することで、住んでいるまちについて考え、考えたことを実践して行動する力・くじけない力を身につける。大人は子どもと一緒に学び、地域の繋がりを深めることができる。企業と地域との繋がりも深め、地域活性化の契機としていく。	195 千円	100 千円
8	足立区女性団 体連合会	こども夢プ ロジェクト	区内には経済的に恵まれない子どもが多く、様々な体験の機会が少ないように感じる。子どもの体験を豊かにするため、会員の技能・経験を生かした各種講座・教室を開催し、子どもの貧困対策にも寄与したい。会員を中心に高校生、大学生のボランティアで実施し、多世代交流を図っていく。	150 千円	100 千円
9	NPO 法人 ベーゴマ普及 協会	ベーゴマを 使用した居 場所作り事 業	子どもたちには遊び場所が少なく、児童館・学童も不足している。一方、公園が使用・活用されていない。また、地域住民との交流が少ない。ベーゴマを通じて、高齢者・子ども等の居場所づくりに協力したい。区が進める地域の高齢者の居場所づくりや子どもの居場所づくりと連携・協力していく。	129 千円	100 千円
10	NPO 法人 アフォー ール	にしいこう こどもひろ ば 継続運営と 参加者倍増 の基盤づく り	共働きやひとり親世帯などが増え、子育て世帯の孤立化や子どもの多様な体験の格差が広がっている。子どもが多様な関係の中で非認知能力を高めるため、逆境を乗り越えられる力をつけられる環境を地域に作ることを求められている。本事業は活動開始から3年経過し実施基盤は整備されてきたが、子どもが成長するにつれ活動から離れる特徴があるため、支援者等を増やし安定的に運営する体制を築く。	136 千円	100 千円
11	NPO 法人 アンドスプ ーン	親子のふれ あいや、マ マ同士が繋 がり学びの 場となる会 や教室事業	核家族が多く、孤立育児が増えており、地域と関わる機会が必要と感じている。過去の親子のイベント開催等を通じて、ママが情報共有や体験の場、繋がりを求めていることが明らかになっている。孤立しがちなママがリフレッシュできる、子どもと安心していられる場を増やすとともに、起業ママのスキルアップや専業主婦のお仕事体験の場として居場所づくりを行っていく。	420 千円	100 千円

<子ども食堂 4事業> 交付予定合計額：391千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	NPO 法人 たんぽぽ会	子ども食堂 たんぽぽ	子どもや保護者及び地域の方々を対象に月に 1～2 回子ども食堂を開催するとともに、退職した教員や学生の協力を得て学びや遊びの場所についても提供する。また、保護者や地域の方々の協力を得て、地域で子どもを支えるネットワークを築く。	197 千円	100 千円
2	いちかポケットの会	こども食堂 「いちか」 ～活動 3 年 目への参加 児童の拡大 事業～	鹿浜地区において、平成 29 年 2 月よりこども食堂をpush 血谷住区センター、特別養護老人ホームで月 2 回程度開催している。「食」「子どもの居場所」の提供を通じて、地域の大人と子どもの繋がりやコミュニケーションの強化を図る。特に「子どもの孤立、食の偏り」が心配される夏休み期間に重点を置き、解決すべき重要課題として積極的に取り組む。	185 千円	100 千円
3	NPO 法人 スマイル・エイジングパートナー	地域食堂「ちびっこどんぶりの日」	地域では顔の見える関係が薄れ、子どもから高齢者が気軽に声かけできる機会も少なくなっている。そのため、子どもから高齢者が安心して過ごせる居場所として地域食堂等を開催する。人と人の繋がりにより、子どもたちを元気に、地域の方々の安心した生活を支えることに貢献していく。	170 千円	100 千円
4	子ども食堂 ポッポたつの子	子ども食堂 の運営	子どもの貧困（孤食や欠食）が見えにくい状況がある。昨年辰沼小学校の協力のもとに子ども食堂を月 1 回開催している。地域の大人が子どもを見守る環境づくりを行うとともに子どもたちと仲良くなることで世代間交流を深め、相互の活性化を図っていく。また、子どもの貧困の見える化を進め、子ども食堂を通じた支援を行っていく。	138 千円	91 千円

<教育・文化・芸術 7事業> 交付予定合計額：687千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	PCN北千住	足立区の子どもたちへのプログラミング教育推進事業	2020年度から小学校でのプログラミング教育の必修化がスタートする。有料の塾などが出始め、収入の格差が学びの格差を広げる懸念がある。プログラミングスキルを持つ人材を活用した「無償プログラミング教室」を開催することで、子どもたちの問題解決能力やプログラミングスキルを身につけられるようにする。	100千円	100千円
2	NPO法人 アンドスプーン	お花で右脳活性！想像力や応用力を身につける脳力&能力『こども花育教室』事業	当団体のメルマガアンケート結果等から子どもの特性や能力を伸ばしていける環境や楽しみながら身につく場を求めていることがわかった。脳と心の発達を促すことから幼児教育や情操教育等にも取り入れられている「花育」を事業として実施する。子どもたちが想像力や能力を発揮する機会を提供することで、自発的能力、コミュニケーション能力、社会性を育んでいく。	200千円	100千円
3	一般社団法人 ねっとワーキング	障がいのある子ども向けの「お小遣いゲーム」の普及	お金の使い方は将来の自立に向け大切な生活スキルであるが、知的障がいや発達障がいのある子は正しくお金を使うことに課題が多く、子育てに悩む親も多い。昨年度作成した障がいのある子ども向けの適切なお金の使い方を体験できる「お小遣いゲーム」を継続実施するとともに保護者向けのミニセミナーも開催する。また、ペアレントメンターの活用の情報提供などを行い、子育てを支援していく。	121千円	100千円
4	スマイル・メイ イツ	障がい児(者)のダンス発表と見学体験会の開催	障がいのある子どもの放課後の行き場は学齢期のみに限られ、卒後の居場所が少なく、親同士の交流もほとんどない。親同士の交流を重視し、情報交換や子どもたちの将来を共に考え学ぶ場として勉強会を実施している。社会参加に繋がる地域のイベントへの参加やダンス発表会の開催などにより、子どもの自己肯定感を高めていく。	514千円	100千円
5	やわらかア ートアカデミー	子供の心を豊かにするアート活動「ビシャバ シャアート」	子どもたちの遊びがデジタル化し、五感を使ってアナログに感覚、感性を育成する場が減っている。感性を鍛えるにはアートが最適であり、子どもが自分の好きなように絵を描ける表現の自由の場として「ビシャバシャアート」の場を提供する。地域のイベントスペース、子育てカフェ、商店街と連携して地域の中にアート活動できる場を作り、アート活動により親子の絆を	90千円	87千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
			深め、心豊かな子どもを育成していく。		
6	Fletcher	足立区主産野菜の小松菜を使用したこどもへの「食育」促進事業	出荷時における間引き小松菜を活用し、小松菜の認知度向上と子どもの野菜に対する苦手意識の改善など食育の促進を図る。子ども食堂と提携し、子どもと一緒に小松菜のお菓子を作り、小松菜の生産環境や生産者の想いを子どもに伝える。事業の恒常化を図るため、区内賛同者を増やし、子ども食堂へ無償提供していく。	130 千円	100 千円
7	しかはま自然観察会のらえもん	子どもの仲間づくりと情緒性・自主性を育てる—四季の多様な自然活動を通して—	子どもたちには学校間の壁を越えてお互いを高めあい、交流できる場・機会が必要である。また、親子が多様な自然活動に共に参加することで共有体験が増え、家庭内の絆が深まることが期待できる。今年度は、キャンプ活動のほか、室内活動（篆刻・しめ縄づくり等）にも取り組み、活動の充実と会員の増加を図っていく。	220 千円	100 千円

＜その他 13 事業＞ 交付予定合計額：1,270 千円

No	申請団体	申請事業名	事業内容	事業費 総額	交付 予定額
1	ニャンコTNRの会	第二期 地域ネコ活動支援事業(ノラ猫保護器の無料レンタル事業)	足立区内はノラ猫が非常に多く、地域環境の悪化や住民間のトラブルが依然として生じている。ノラ猫のTNR（不妊去勢手術）を実施してきたが保護器の数が少なく、まだTNRの必要な猫がたくさんいる。保護器を多く貸出することで、TNR件数の増加を図り、ノラ猫によるトラブルを軽減し、地域環境を改善していく。	100 千円	100 千円
2		ノラ猫の譲渡促進事業（ケージ及びビブスの整備）	足立区内はノラ猫が非常に多く、地域環境の悪化や住民間のトラブルが依然として生じている。ノラ猫のTNR（不妊去勢手術）を実施後に、譲渡を実施しノラ猫問題の軽減に取り組んでいる。今後は、譲渡数を増やすとともに、地域ネコ活動支援について普及啓発を強化し、地域環境の改善を図る。	101 千円	100 千円
3	NPO綾瀬わんわんサポーター	防災の為に飼い犬の訓練と地域の人や犬の交流事業	首都直下型地震などの災害時に備えて、日頃から地域の犬の防災を目的とした訓練を実施し、住民同士、犬同士の交友を深め相互扶助に役立てる。また、昨年に引き続き、犬をつれての公園内の清掃活動やしつけ教室の開催に取り組み、飼い主のモラルや犬の社会性の向上、公園内の秩序が保たれるよう活動を行っていく。	114 千円	100 千円
4	子育てカフェ eatoco	ナナシノ商店街～個人店を結ぶローカルバッグプロジェクト～	大型ショッピングセンターやチェーン店などに押され、個人商店の経営が厳しい状況にある。そこで、各個人商店から出る廃材を活用した買物バッグの開発・製造・販売を通して、顧客が個人商店で買い物する楽しみの創出や商店への応援、環境保護に寄与するしくみをつくる。SNSサイトの開設などにより他エリアからの顧客流入も期待できるような話題を提供し、地元経済を活性化することを目的とする。	162 千円	100 千円
5	NPO 法人 スマイル・エイジングパートナー	地域高齢者の介護予防事業「脳の健康教室」	当団体は介護事業者であるが、通常の事業とは別に健康な高齢者を対象に「要介護」「要支援」になるのを予防することに力を入れ、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう「脳の健康教室」を実施する。介護予防の必要性の周知とサポーターの増加や地域交流の活性化を図る。	627 千円	100 千円

No	申請団体	申請事業名	事業内容	事業費 総額	交付 予定額
6	NPO 法人 石綿被害者支 援の会	石綿被害者 支援のため の「学習相談 事業」	区内には石綿製造企業等が多く、石綿被害を受ける労働者が多い。被害者の労災保障などの生活支援が必要だが相談する機関が少ない。石綿被害者の生活支援のため、石綿健康被害についての啓発、相談事業を展開し、石綿被害者の生活・福祉増進につなげていく。	118 千円	100 千円
7	一般社団法人 ねっとワーキ ング	学校不適応 と不登校の 対応を考え る講演会	学校不適応や不登校は身近な問題で、早期に適切な支援が受けられることが大切である。困っている本人の特性や思い、不自由をくみとる手法を学ぶ必要がある。応用行動分析学に基づき早期対応プログラムなどの開発を手掛けた有識者が、保護者・支援者・学校等が学びを共有できる場を提供する。関係者がそれぞれの環境での役割を確認し、要支援者を取り囲む課題を共有する。	157 千円	100 千円
8	あだち T S ネット	あだち T S ネット 3 周年記念講 演会	地域でトラブルに巻き込まれたり、トラブルを起こしてしまう脳機能や精神機能に障がいを抱えている人を地域のネットワークで支え、障がいの有無にかかわらず誰もが地域で安心して暮らせる仕組みづくりと権利擁護を目指す。地域で暮らしていく中で起こる様々なトラブルについての対応や解決のヒントを学ぶため、専門家を招いたパネルディスカッションを行い、多くの区民等に周知啓発する。	147 千円	100 千円
9	NPO 法人 なりわいプロ ジェクト	農業体験を 通した障が い者・引きこ もり者の社 会自立・就労 支援	足立区には就業に課題のある若年層が多く潜在している。社会的引きこもり状態にある人たちは約 6,500 人いるとされており、農業をはじめとした戸外で社会に関わる機会が失われている。就業に課題のある方々が、自分の力を自覚し、自信を持つことができるよう、社会参画や就業につながる有効な手段として農業体験の機会を提供する。	149 千円	100 千円
10	“がきんち よ”ファミリ ー	ほつかハー トプロジェ クト	2017 年度より保塚地域を中心に“やさしいまちづくり”をコンセプトとした「地域井戸端会議」及び「こども地域包括情報交換会」等の様々な活動を行ってきた。これらの活動を包含する『ほつかハートプロジェクト』として、・地域での町会自治会とは別の拠点づくり・人にやさしい孤立させないつながりづくり・世代間交流、多世代交流等の可能な出会いの場づくりを行っていく。	70 千円	70 千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
11	D-アドール	思春期・青年・成人期のダウン症に関わる情報共有・伝達事業	区内の障がい児（ダウン症）の保護者は、小さい頃は保健センターや療育施設で様々な情報を得ることができるが、卒園後は、個人の意識等により情報差が生じている。また、新しい情報を取り入れるには個人の力では限界がある。卒園後の情報収集と悩みを共有する場をつくり、保護者が子どもの将来に対して抱く不安を軽減する。	120 千円	100 千円
12	A D I S C （アディスク）	知的障がい者（児）運動支援事業	障がい者は運動する機会と場が少ない状況にあり、特に義務教育終了後は激減し、肥満やコミュニケーション不足等の弊害が生じている。サッカーを通して定期的に運動することで心身ともに健康促進を図ることや親同士の繋がりを深めていく。また、健常者と障がい者のバリアのない関係を構築していく。	100 千円	100 千円
13	一般社団法人 あだち子ども 支援ネット	あだち子ども未来応援 円卓会議 2 0 1 9	あだち子ども支援ネットは、こども・若者・家族・家庭に関わる環境課題全般の講演会や関係団体の連携・交流の場を設定している。「あだち子ども未来応援円卓会議」では、語りにくい現代社会の家庭・家族について、課題に取り組む支援者が語り合う。その記録を報告書としてとりまとめ、区内小・中学校へ配布し子どもたちの現状を伝える。	145 千円	100 千円

【ステップアップコース】申請件数：8件 採択件数：3件 交付予定合計額：1,650千円

＜子ども食堂 1事業＞ 交付予定合計額：600千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	社会福祉法人 からしだね	子ども食堂 「じいじハ ウス・ばあば キッチン」	家庭の経済状況や保護者の就労等の事情により孤食になる子どもが多い。このため、ニーズのある子どもと家族に対して食事と居場所の提供や学習支援を行なうことで、経済的な支援とともに社会との繋がりが提供できている。今後も地域の民生・児童委員との連携により、子どもと家族の支援のための取組みとネットワークを更に強化し、子どもへの支援を行っていく。	901千円	600千円

＜教育・文化・芸術 2事業＞ 交付予定合計額：1,050千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	NPO法人 LILA 子どもの学びを支援する会（リエゾン・アダチ）	リエゾン・キッズプロジェクト2019 2030年の社会のために学ぼう！やってみよう！PART2	子どもたちは総じて自ら学ぶ姿勢と自己肯定感の低下、コミュニティ意識の欠如が課題であり、加えて貧困やひとり親というリスクを背負った子どもたちには学び・体験機会が乏しいという課題がある。子どもたちが自らシンポジウムを企画・運営し、学ぶ楽しさや体験の機会を得ることで自己肯定感の向上と学習へのモチベーションを高めていく。また、貧困の連鎖のリスクが減少する効果が見込める。	705千円	450千円
2	NPO法人 あだち音楽文化指導者の会	生演奏で子どもや大人の心を豊かにする事業	足立区の子ども達は五感を使って音楽を楽しみ、心が豊かになる「生演奏」に触れる機会が少ない。「生演奏」を通じて子ども達の心を育て、足立区の全ての人に音楽文化を普及させていく。小学生から社会人までの音楽コンクールを実施し、「聴く」「歌う」「演奏に参加する」で五感を使い、音楽を体感する「みんなde演奏会」を保育所等の施設で開催していく。	1,593千円	600千円